

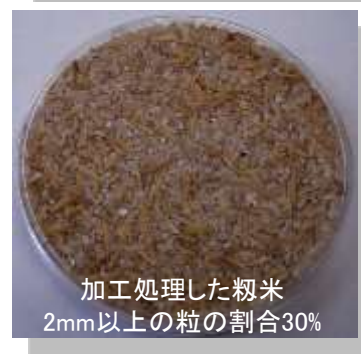
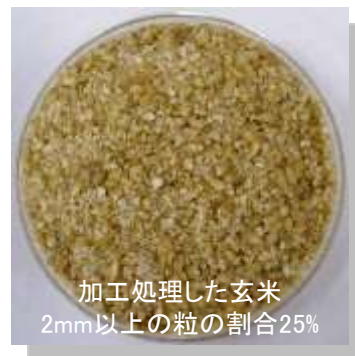
飼料用米の加工粒度とTDNの関係

目的と特徴

- ・飼料用米の加工粒度の違いが乳牛での消化性に及ぼす影響を調べました。
- ・飼料用米は破砕処理機を用いて加工処理することで飼料価値を高めることができます。
- ・玄米、粳米ともに加工するときの粒の大きさが乳牛の消化性に影響を及ぼします。



飼料用米破砕処理機による
飼料用米の加工処理



- ◇ 飼料用米を破砕処理機により加工します
- ◇ 加工は2mm以上の粒の割合を少なくします

加工した飼料用米は

糞中への排出割合が

玄米で**16%**、粳米で**38%減少**

TDNが

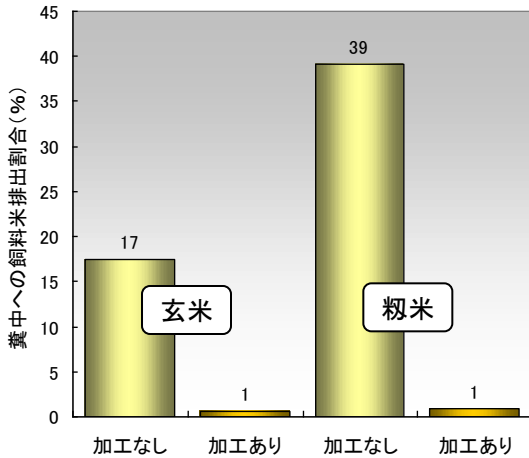
玄米で**21%**、粳米で**32%向上**

成果

- ・玄米、粳米ともに2mm以上の粒の割合が少なくなるにつれてデンプン消化性は向上し、TDN含量は高くなります。

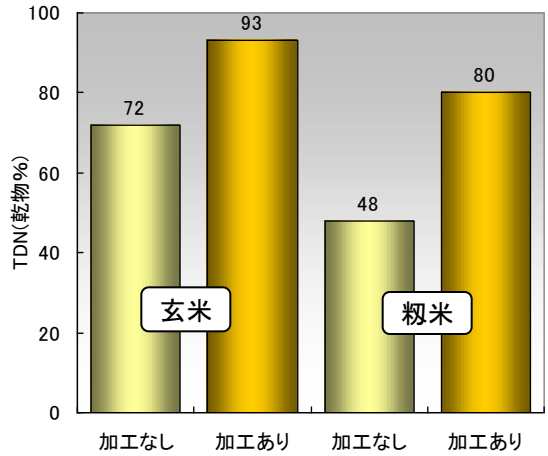
飼料用米の加工処理による効果

糞中への飼料用米排出割合

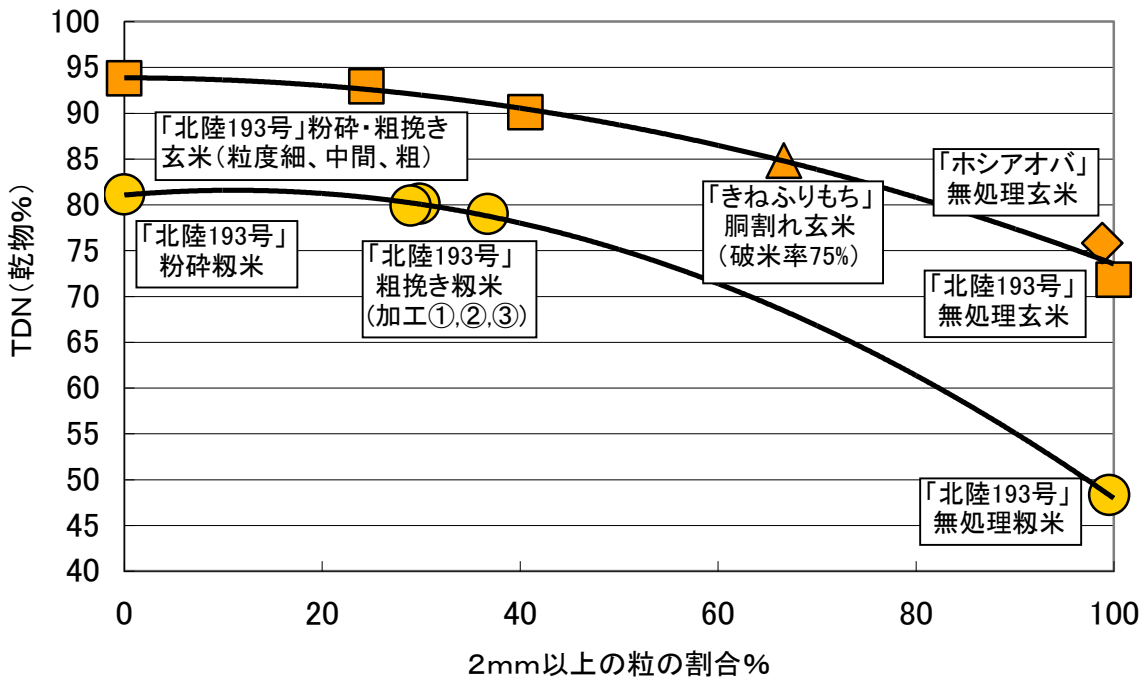


* 加工ありの2mm以上の粒の割合は玄米で25%、粳米で30%

飼料用米のTDN含量



飼料用米の加工粒度とTDNの関係



普及作物・家畜、普及対象

- ・飼料用米、乳牛、全国

対象農家

- ・飼料用米を給与したい大家畜農家

必要な道具

- ・飼料用米破砕処理機

関連HP

その他

- ・乳牛の消化性は、飼料用米を粉碎、粗挽き、挽き割りに加工したものが対象となります。